

このまち
津市で輝く

Vol.14



撮影:みさとの丘学園グラウンド

みさとの丘学園校歌 作詞者
エドワード・スクラグスさん

米国テネシー州生まれ、津市美里町在住。平成7年に来日し、現在大学で英語講師を務める。4月1日に開校した県内初の義務教育学校「みさとの丘学園」の校歌のうち、英語で歌われる3番の作詞を手掛けた。



校歌を練習する子どもたち

Q1 どんな思いで校歌を作りましたか？

“故郷”は、お気に入りの日本語のひとつ。作詞しながら、いつの間にか“Misato”が私の故郷になっていたことに気付きました。津市で暮らして20年以上が経ちましたが、「手伝うことはない?」「これ食べて」と、いつも優しく声を掛けてくれるご近所の皆さんの心遣いに、日々感謝しています。そんな温かい住民の人柄や、美しい景色があふれる“Hometown-故郷-”のことを、子どもたちに歌ってほしいと思いました。

Q2 作詞のポイントと、お気に入りのパートは？

校歌の3番は、完成した日本語パートからインスピレーションを受けて作りました。直訳ではなく、リズムを合わせ、さらに誰でも口ずさめる簡単な単語を使うよう心掛けました。1番の「♪ある・く」と3番の「♪On・we・go」は、ニュアンスとリズムが同じで響きが良いだけでなく、実は「未来へ向かう」といった、英語ならではのメッセージも込められているんですよ。

Q3 津市の子どもたちにメッセージを!

「都会はいいな」「駅の近くに住みたいな」、そんな声をよく聞きます。もちろん、それも素敵ですよ。でも私は“All our children-津市の子どもたち-”に、いま皆さんがいる場所がいかに素晴らしく、可能性が無限に広がっているかを知ってほしいと願っています。

生徒たちが歌う
みさとの丘学園の
校歌を聴いてみよう!



税理士法人 心

相続・会社設立・税務顧問・税務申告・税務調査(他)

西尾 清 <名古屋> 西尾 有司 <東海> 森田 清則 <名古屋>
斎藤 美淳 <東海> 寺井 涉 <東海> 竹村 理紗 <名古屋>
上田 佳孝 <名古屋> 小島隆太郎 <名古屋> 内堀 昌樹 <名古屋>

津駅税理士事務所 <東海> 松阪駅税理士事務所 <東海> 本 部 <名古屋>

津駅0.5分 松阪駅1分 名古屋駅2分

心グループでは企業様をトータルサポート!

弁護士法人心 心経営学 社会保険労務士法人心

(株)心相続 (株)心会計 (株)心保険 (株)心デザイン

心グループ一丸となってサポートいたします!

総合受付 夜間・土日相談可(要予約) 平日9時~22時受付

0120-145-345 http://kokoro.ac

広報つ!

毎月1日・16日発行

- 編集・発行
津市政策財務部広報課
〒514-8611
西丸之内23-1
☎059-229-3111
FAX 059-229-3339
- 印刷
共立印刷株式会社

広告掲載欄

市財政収入の一部に寄与することを目的とし、裏表紙に広告を掲載しています。なお、掲載している広告内容については津市が保証しているものではありません。